

JAWS

発行人：麻生 泰
編集人：中 幸四郎
山口千津子
編集協力：平山企画舎



CONTENTS

- 三宅島噴火災害動物救援センター
新たなステップへ…①
- ペット動物の購入トラブル…②
- 「森の学校」映画のご案内…②
- 視察 また、露店で動物を販売…③
- ブック・ビデオ紹介…③
- 動物との共生を考える連絡会
第2回シンポジウム…③
- 動物と共生のできる公営住宅…④
- 改善への要請 文書発送…⑤
- お知らせ・事務局から…⑥
- 寄付者ご芳名…⑥
- 支部だより…⑦
- ジョーズジュニアコーナー…⑧

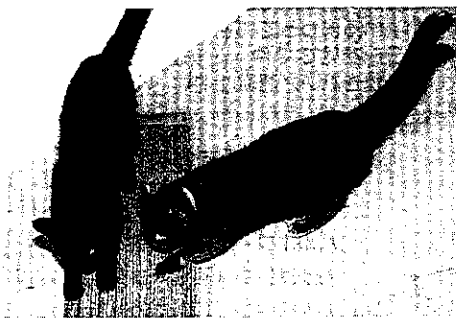
発行 / 社団法人日本動物福祉協会 〒106-8663 東京都港区元麻布 3-1-38 第5谷沢ビルディング内
TEL (03) 3405-5681 FAX (03) 3478-1945 HP http://www.corcocu.co.jp/JAWS/ e-mail jaws@pop12.odn.ne.jp

三宅島噴火災害動物救援センター 新たなステップへ

動物にとっては 温かい家庭が一番

長引く避難生活の中、二度目の新年を迎えた本年1月12日、三宅村主催で「飼い主の集まり」が開催されました。その席で、村から飼い主に向けて、「すでに全島避難から1年4カ月を経過し、緊急避難的な一時保護という時期はもう終わった。動物の立場にたつてもう一度考える時期にきている」との提言があり、飼い主側からも飼育動物に対する飼育責任の遂行について積極的な発言がありました。

この時の会合をもとに、三宅村からの全島民（飼い主）に向けて、今後の被災動物の保護のあり方について飼い主としての意思確認の文書が出されました。その三宅村からの文書では「避難生活から1年4カ月を過ぎ、避難当初より現在まで動物たちが本来の飼い主と離れて、救援センター等で一時保護されている形態が続くことは、動物たちにとって限界にきているのではないか。動物たちの本来の生活を取り戻すためには、新たな飼い主との同居生活も視野に入れ、動物たちの現状を理解し、飼い主の責任を果たす時期にきているのではないか」として、飼い主には現在



三宅島噴火災害動物救援本部に預けている動物たちを引き取るか、あるいは新しい飼い主へのお願いをするかという意思確認が行われました。

東京都、三宅村及び三宅島噴火災害動物救援本部（当協会も構成団体）の三者による協定のもとに三宅島噴火災害動物救援センターを東京都日野市に設置し、この1年、皆様からの多大なご支援を得て、被災動物の保護収容を行って参りましたが、この三者協定の期限が2月28日となっていたため、三者で今後のセンターのあり方について協議をした結果、取り敢えず協定を平成14年3月31日まで延長し、それを目途にどうしても引き取ることにできないと判断された飼い主さんから新たな飼い主への譲渡を中心に活動していくことになりました。当協会会員の皆様はじめ多くのボランティアの方々のお力添えをいただきお陰をもちまして保護収容された動物たちは健康に過ごすことができました。本当にありがとうございました。4月1

うございました。4月1

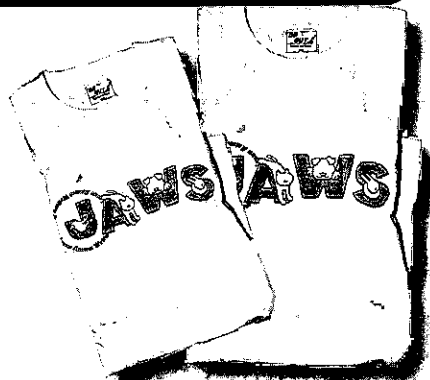
グリーティングカード(カラー)



100 mm × 148 mm

素敵なイラストで人気の山本容子さんのグリーティングカードです。
¥1,000 (5枚1組)

JAWS オリジナルTシャツ



JAWS ロゴマーク入りシャツです。
サイズ：L&M ¥2,500

シール(カラー)



104 mm × 200 mm

JAWS のロゴマークをデザイン化した楽しいシールです。
¥150 (1枚)

グリーティングカード(モノクロ)



100 mm × 148 mm

渡辺寿宗さんのデザインによる犬の絵柄の入ったグリーティングカードです。
¥500 (3枚1組)

JAWS

オリジナルグッズ

商品の販売による収益は、当協会の活動に有効に役立てられます。

●お支払い方法

商品に振替用紙を同封いたしますので、到着後2週間以内にご送金ください。なお、送料は実費とさせていただきますのでご了承ください。

●お申し込み方法

お手持ちのハガキか FAX でお申し付けいたします。また、e-mail でも承ります。

104 mm × 200 mm



みさわ圭介さんのイラストで10種類の図柄が入ったシールです。
¥100 (1枚)

シール(モノクロ)

日以降も(旧)東京都獣医師会所属の動物病院には動物たちが保護されておりますので、彼らの幸福を願いつつ救援本部の活動を継続していくことを報告させていただきます。

飼い主としての緊急災害時対策

今回の三宅島噴火をはじめさまざまな自然災害に見舞われる日本列島。そこに住むからには自然災害が発生した時の緊急避難の用意をしておくことが不可欠ですが、それは人間にとっただけではなく、犬やネコ等の家庭動物についても同じです。

まず、基本は「同行避難」。つまり、災害に見舞われ避難するときには、必ず大切な家族である動物も一緒に避難させることです。数日のうちには地域の獣医師会や動物保護団体・ボランティア等に自治体が協力して動物たちの受け入れ体制を整えることができるはず。

災害のショックと混乱でパニックになれば飼い主とはぐれる可能性もありますから、鑑札や迷子札やマイクロチップ等による個体識別の方法は必ずとっておきましょう。また、避難先で他の動物と集合状態となったときのことを考え、普段からのしつけと適切な健康管理、とりわけ、不妊・去勢手術をしておくことは大切です。

- 同行避難する動物たちのためには次のような「避難セット」を用意しておくことが安心です。
① 運搬用ケージとリード・ハーネス
② 3〜5日分の日常与えている食事と水、いつも使っている食器
③ 犬用糞取り器や猫用小型トイレと砂
④ 気に入りの敷物やおもちゃ等
⑤ 病歴や服用中の薬、ワクチン接種・不妊去勢済かどうか、かかりつけの動物病院等を記録した健康手帳。

ペット動物の購入トラブル

(平成13年4月2日〜平成14年3月11日)

総相談件数 犬62件 猫8件 その他3件 合計73件

ペット動物の購入問題に関する協議会の事務局である当協会は、時折ベトナムショップやブリーダー等より動物を購入した方から相談が寄せられます。同協議会は94年に設立されましたが、当初から多い相談内容は、購入時点ですでに感染していた病気や先天性疾患です。また、最近では、インターネットによる通信販売やオークションで購入した動物に関するトラブルも増えてきています。

犬や猫を飼いたい方には、当協会をはじめとする民間団体や、保健所を通して動物の新しい飼い主になっていただきたいです。
○親・兄弟・飼育施設(清潔で快適な環境かどうか)を見せられるかどうか
○ワクチン接種と接種証明書の有無

○外見上の健康状態(目・鼻・耳・お尻・被毛・やせていないかどうか等)
○検便等の健康チェックが済んでいるかどうか
○契約書の内容
○購入後、動物病院を飼いまが自由に選択できるかどうか

購入トラブル以外に、動物を飼う前のご相談も、受けておりますので、当協会本部事務局(電話03(3405)5681)までどうぞ。

⑥ 飼い主とともに写っている写真
⑦ その他、その動物に特に必要なものがあれば個々に用意。

災害時の緊急避難を考えると、多頭飼育をしている場合には、全員を安全確実に避難させることは容易ではありません。まして野生動物を飼っていたら、無事に避難させることは極めて困難です。緊急時の対策が立てられないような頭数や種類の動物を簡単に飼うことは無責任といわざるを得ません。

避難所で用意された動物のシェルターに動物を預けた時は、できるだけ頻りに会いに行くことが必要です。動物たちは恐怖と不安におののきながら飼い主を待ち続けているのですから。そして、1日も早く、共に暮らせるように手配してください。飼い主のもので安心して日々を送ることができるようになるのが飼い主としての最低限の責任であり、それが人と動物の絆のあるべき姿だと思います。

購入先選定理由(複数回答有り)

- インターネット9件 ・近くの店7件 ・希望の種類がいた7件
・大型店/店にたくさん動物がいる6件 ・雑誌/新聞広告7件
・いろいろまわって5件 ・人の紹介4件 ・衝動的に3件
・チラシを見て3件 ・通りすがり3件 ・電話帳を見て2件
・店内がきれい/清潔2件 ・その他14件

病名(複数回答有り)

- 先天性疾患(内臓/関節等)18件
・パルボウイルス感染症16件
・内部寄生虫(回虫/コクシジウム等)8件
・外部寄生虫(耳ダニ/シラミ等)15件
・ジステンパー5件 ・皮膚病3件
・咳(病名不明)3件
・嘔吐(病名不明)3件
・下痢(病名不明)3件 ・熱(病名不明)1件
・その他13件

動物の状態

- 治療中31件 ・死亡14件
・今後手術が必要3件
・その他14件
・治療中6件 ・死亡2件

購入時の日齢(以下、犬・猫のみ)

- 40日未満1頭
・40日以上50日未満10頭
・50日以上60日未満5頭
・60日以上90日未満27頭
・90日以上10頭
・不明9頭
40日未満1頭
・50日以上60日未満2頭
・60日以上90日未満3頭
・90日以上1頭
・不明1頭

販売者側の対応

- 飼い主はまだ販売者(購入先)に交渉していない21件
・代犬を飼い主に渡すと言っている(1頭目の購入時に支払済みの代金の何割かを2頭目を引き取る際にさらに支払わなければならない場合も含む)10件
・とりあってくれない10件
・販売者指定の動物病院に通・入院中6件
・治療費の一部を負担すると言っている2件
・販売者と連絡がとれない2件
・飼い主が販売者に怒鳴られた2件
・その他9件

- 飼い主はまだ販売者に交渉していない2件
・治療費の一部を負担するか代猫を渡すと言っている1件
・とりあってくれない1件
・その他1件

日本動物福祉協会 「後援映画」の紹介

こどもの自然はどこへ行った?

上映スケジュール

- 【4月19日】若手県前沢市(決定)
【5月中旬】東京(予定)
【5月】北海道主要都市(予定)
【6月8日】京都朝日シネマ(決定)
【7月下旬】岡山鏡野(予定)

自主上映会を基本とし、671市町村の文化ホールでの上映と一部劇場公開

●親子ペア券1,800円(当日2,200円) ●おとな券1,300円(当日1,500円) ●子ども券700円(当日700円)

あなたは映画の中で何匹の生き物を見つかけられますか?

お問い合わせ:03(3562)5545

http://morinogakko.aapc.co.jp

企画・製作「森の学校製作委員会」 ●後援 日本動物福祉協会・ほか

森の学校

丹波篠山の自然を舞台に、里山で遊ぶ少年を通して生き物の命、親子の愛の絆の尊さを、また森の大切さを交えて語りかけます。
家族や動物とのふれあいを描いた映画「森の学校」は、河合雅雄(京都大学名誉教授・元京都大学豊稔農学研究所周長)著「少年動物誌」をもとにした物語です。